

2016年2月16日
(改訂日:2016年2月25日)
※改訂履歴は最終ページに記載

お客様各位

株式会社 セゾン情報システムズ
HULFT 事業部

HDC-EDI Base の Any 変換における閏年の取り扱いに関する重要なお知らせ

HDC-EDI Base Ver.3.6.0 以降に含まれている Any 変換において、入力または出力の日付項目(年の指定がない月日/MMDD)の変換処理において、値が「0229」(閏年)の場合に変換エラーとなります。Any 変換の動作としては年の指定がなく月日だけの場合、閏年の判定が出来ないため変換エラーとなることは正しい動作ですが、この動作を意図していないお客様を考慮し、「原因」および「対処方法」を下記の通りご案内いたします。

合わせて、保守契約を締結いただいているお客様には、パッチを提供いたしますので、下記「対応パッチの提供」をご確認いただけますようお願いいたします。

なお、ご不明な点などございましたら、貴社担当営業またはテクニカルサポートセンターの問い合わせ窓口まで、ご遠慮なくお問い合わせ下さい。

敬具

— 記 —

1. 対象製品

HDC-EDI Base B2B / E2X / B2B LE Ver.3.6.0 ~ 4.3.0

2. 発生事象

以下のいずれかの現象が発生する可能性があります。

1)年を持たない日付データの変換処理でエラーが発生する

発生条件

- ・入力フォーマットに、年も持たない日付タイプの項目が存在する
→ 日付書式として「MMDD」、「MM/DD」、「DDMM」など、年部を持たない日付データが相当
- ・この項目を出力側で利用している
- ・変換実行時、上記の入力項目の値として月部に「02」、日部に「29」がセットされている

この条件をすべて満たす場合には、以下の変換エラーが発生します。

<エラー例>

■エラーログ

Error : [No.2202] rec::item (詳細位置 0:0:1)

項目 item の日時への変換に失敗しました。

レコード番号:1 0x30323239

Error : [No.2221] ::

読み込み単位内での不正を検出し、停止します。(入力レコード 1 - 1)

レコード番号:1

2) ConvDate 関数を使った日付データへの変換処理でエラーが発生する

発生条件

- 出力側の任意の位置で、ConvDate 関数を利用して文字列データを日付データに変換している
- 変換対象の文字列データは、月日相当の値(日付書式として「MMDD」、「MM/DD」、「DDMM」など、年部を持たない日付データ)だけを持っている記述例:ConvDate(:{in},{item},"MMDD")
- 変換実行時、:{in},{item}の値として「0229」がセットされている

この条件をすべて満たす場合には、以下の変換エラーが発生します。

<エラー例>

■エラーログ

Error : [No.2215] out::item (詳細位置 0:0:1)

日付型へ変換できない引数 0229 を ConvDate 関数で検出しました。(日付書式 MMDD)

レコード番号:1

Error : [No.2221] ::

読み込み単位内での不正を検出し、停止します。(入力レコード 1 - 1)

レコード番号:1

3. 発生原因

Any 変換では日付の有効範囲を「西暦 1 年 1 月 1 日～西暦 9999 年 12 月 31 日」と定義しています。この範囲に収まらない日付は無効日付として扱います。

HDC-EDI Base Ver. 3.6.0 未満では、日付の初期値を年「0」、月「1」、日「1」としていました。

例えば「MMDD」書式の入力データを「YYYYMMDD」書式で出力する場合には、「YYYY」部に「0000」を補完して出力していましたが、「0000」では無効日付（西暦 0 年は存在しない）を出力していることになり、またこの動作に起因して日付演算で意図しない結果となるケースがあったため、HDC-EDI Base Ver. 3.6.0 で不具合として改修しました。

HDC-EDI Base Ver. 3.6.0 以降では、日付の初期値を年「1」、月「1」、日「1」としました。

HDC-EDI Base Ver. 3.6.0 でのご案内を以下に記載します。

入力項目が空値の場合に、出力データが作成されない問題 - Tchar 関数
Tchar 関数を利用した変換において、出力データが正しく作成されない、または変換が異常終了する問題に対応しました。

[発生条件]

- Tchar 関数の第 1 引数(日付)で、空値または無効日付に対する演算をしている
[ANY:324]

HDC-EDI Base Ver. 3.6.0 未満では年の初期値として「0」を付加していたため、「MMDD」書式（年の指定がない）の入力データが「0229」となっていた場合、「00000229」として処理を行っていました。結果として、常に閏年と判定し正しい日付と判定されていました。

HDC-EDI Base Ver. 3.6.0 以降では年の初期値として「1」を付加しているため、「MMDD」書式（年の指定が無い）の入力データが「0229」となっていた場合、「00010229」として処理を行います。そのため不正な日付と判定されエラーが発生します。

4. 年指定のない日付書式を使用している変換定義の検出ツールの提供

AnyTran 5.12.0 以降で発生する年の指定がない月日/MMDD の変換処理にて、値が閏年「0229」の場合に変換エラーとなる可能性がある AnyTran 変換定義(.any)を検出するツールを用意いたしました。本ツールをご利用いただき、対応の有無をご確認ください。

ツールの実行でファイル名が出力された場合は、本事象に該当する定義体だけではなく、該当しない定義体も検出される可能性があります。

そのため、お客様で定義内容をご確認の上、本事象に該当する際は変換定義を変更いただくか、パッチの適用をお願いいたします。

ツールの使用方法については、ダウンロードしたファイルを展開すると UNIX と Windows フォルダの2つがありますので、適用する環境の README.txt をご参照ください。

■ツールは、以下の URL よりダウンロードしてください。

http://www.hulft.com/download/hdctest/module/hdc_edi_anycheck_dl.html

5. 対処方法

本現象が発生する場合には、以下のいずれかの方法で対処をお願いします。

1) 変換定義を修正頂く方法

以下の方法で定義してください。

年を持たない日付データの変換処理でエラーが発生する場合

1. 入力フォーマットに定義された該当の日付項目(「MMDD」書式(年の指定がない))を、「日付」タイプから「混在文字列」タイプに変更する。
2. この項目を利用している出力側の位置で、ConvDate 関数を使用して妥当な「年」を付加して日付データ変換する。

例 1:

```
ConvDate(Dchar(SysDate(), "YYYY")+:{REC}.[ITEM], "YYYYMMDD")  
=> :{REC}.[ITEM]が「0229」の場合、「20160229」となる。
```

※

Dchar(SysDate(), "YYYY")は、現在年を取得しています。(2016 年)
最終的な出力値は、その項目で設定している日付書式で出力されます。

例 2:

```
ConvDate("2016"+:{REC}.[ITEM], "YYYYMMDD")
```

※

年に固定値を記載する方法でも構いません。

ConvDate 関数を使った日付データに変換処理でエラーが発生する場合

1. 変換対象の文字列データに妥当な「年」を付加して日付データに変換する(変換方法は、上記の例 1、例 2 を参照してください)

2) パッチを適用頂く方法

「MMDD」書式(年の指定がない)のデータを解釈する場合に、年の初期値に変換実行時のシステム年を補完して処理を行うパッチをご提供いたします。このパッチを適用することで、年の初期値が以下のように変わります。

- ・適用前:「0001」
- ・適用後:「システム年」(現時点であれば「2016」)

月日しか持たない日付データは、変換実行時点の年と判断してよい場合は、本パッチを適用していただくことで、変換定義を修正することなく期待する結果となります。またプロパティファイルにて、補完する年に任意の値を指定することも可能です。

パッチのリリース日および入手方法に関しましては、後述の「6. 対応パッチの提供方法」をご参照ください。尚、パッチの適用方法に関しましては、同梱されるリリースノートをご覧ください。

6. 対応パッチの提供方法

2月16日より、技術サポート専用サイトの [ツール] にて提供しておりますので、そちらの案内をご覧のうえ、ダウンロードいただきますようお願いいたします。詳細はテクニカルサポートセンターの問い合わせ窓口までご連絡ください。

※上記問い合わせ先がご不明の場合は、HULFT カスタマーライセンスサイトにてご確認ください。

【改訂履歴】

2016年2月16日	初版作成
2016年2月19日	「4.年指定のない日付書式を使用している変換定義の検出ツールの提供」および検出ツールを更新しました
2016年2月25日	「2. 発生状況」、「5. 対処方法」を更新しました

以上